

四賀地区 図書だより

令和4年6月1日号

発行 四賀公民館図書視聴覚委員会
(事務局 TEL 64-3112)

新着本の紹介

田植えも終わり、木々の緑が色濃くなる季節となりました。公民館図書視聴覚委員会では、昨年度まで「図書だより」を年6回発行してまいりました。そんな中で、地域の方々に図書室にある本にもっと興味を持ち、もっと図書室へ足を運んでいただけるように新着本を中心に表紙の写真を載せてみることにしました。本年度は年6回のうち2回は新しく購入した本をこのような形で紹介してまいりたいと思います。是非、多くの方のご利用をお待ちしております。



『同志少女よ、敵を撃て』
逢坂冬馬 著



『赤と青とエスキース』
青山美智子 著



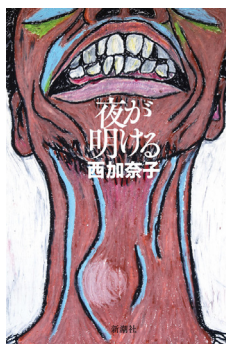
『スモールワールドズ』
一穂ミチ 著



『正欲』
朝井リョウ 著



『六人の嘘つきな大学生』
浅倉秋成 著



『夜が明ける』
西加奈子 著



『残月記』
小田雅久仁 著



『硝子の塔の殺人』
知念実希人 著



『黒牢城』
米澤穂信 著



『星を掬う』
町田そのこ 著

『奔流の海』

伊岡瞬著



『母の待つ里』

浅田次郎著



『正体』

染井為人著



『いえ』

小野寺史宜著



『深花(隠蔽捜査9)』

今野敏著



『黛家の兄弟』

砂原浩太郎著



『東大教授、若年性アルツハイマーになる』

若井克子著



『その日まで』

瀬戸内寂聴著



『メルケル世界一の宰相』

カティ・マートン著



『宇宙の果てへ量子力学体験ツアー』

はばなおゆき著



『キャンプ&アウトドア安くて良いモノベストコレクション2022』

『わたし好きな季節』

川上弘美著



『せんそうがやってきた日』

ニコラ・デイビス著



『みんなとおなじくできないよ』

湯浅正太著



『あぶないときはいやです、だめです、いきません』

清永奈穂著



編集後記

話題の本「80歳の壁」の著者が、脳への刺激のために「自分の主義主張と反対の本を読む」ことを勧めてました。異なる主義主張に触れるのは心地良くないかもしれませんが、戦争がもたらす長く辛い苦痛に比べたら大したことはないはずです。